

柏崎市番神漁村センター指定管理者制度の廃止について

1 廃止理由

地域の漁業振興と住民福祉の向上を図る目的で建設された柏崎市番神漁村センターは、昭和53年度に建てられた旧耐震構造の建物であります。

施設の管理につきましては、現在、指定管理者制度により新潟漁業協同組合と契約を締結し、管理を委託しているところであります。

当該施設は老朽化が進んでおり、今後も建物を使用するためには、耐震補強工事を行うことが必要とされていることに加え、近い将来に大規模な修繕工事も必要となることが予想されます。

これらの工事を行うためには、多額の費用が必要となり、今後の柏崎市の財政に影響を及ぼすことが予想されるため、現在の使用状況及び周辺類似施設の整備状況を考慮した結果、施設の存続理由が乏しいとの判断を行いました。したがって、今後施設の更新に関する事業は行わないこととするとともに、平成30年度末を持ち、公共施設としての利用を廃止したいと考えております。

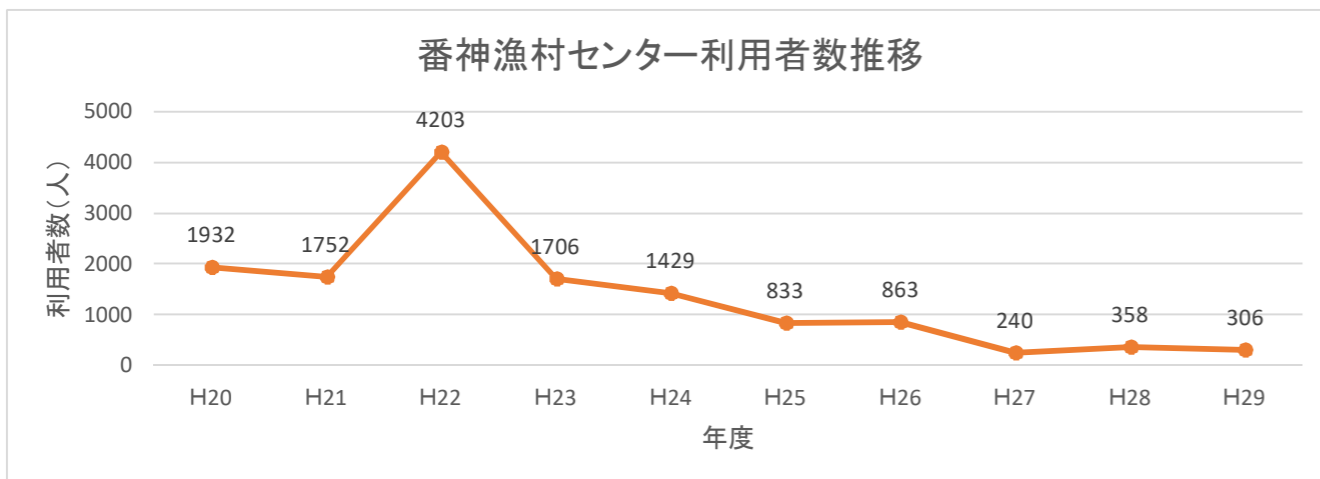
それに伴い、施設の管理につきましても新潟漁業協同組合と平成32年度までの指定管理に係る基本協定を締結しておりますが、次の2月定例会議において「番神漁村センター設置及び管理に関する条例を廃止する条例の制定について」の議案を提出し、当該施設の指定管理者制度を廃止させていただきたいと考えております。

2 施設概要

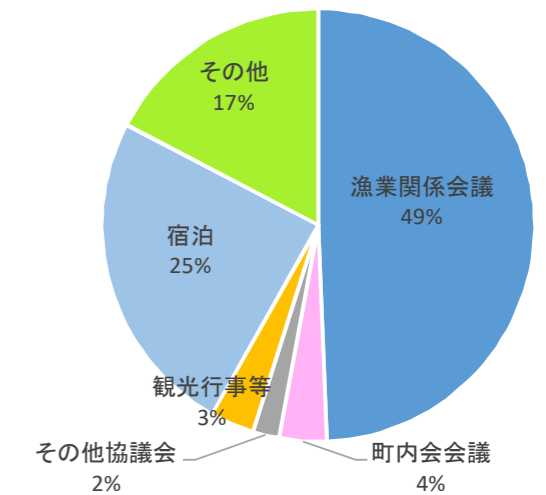
設置年度	昭和53年度（1978年）
事業名	沿岸漁場高度利用促進緊急特別対策事業
事業費	64,152千円
構造・規模	鉄骨2階建 延べ床面積487.2㎡（1階234.0㎡ 2階253.2㎡）

3 施設利用者数推移及び利用区分割合

10年間の利用者数の推移については、次のとおりとなります。



平成29年度施設利用区分割合



また、平成29年度の利用者区分は、右記のとおりとなります。全体の利用者数306人のうち、地元の新潟漁業協同組合柏崎支所の組合員の利用が半数の151人となっています。宿泊については、調査、測量を行う人たちが占めており、75人となっています。

4 老朽化状況写真



5 関係者の意見

指定管理者制度の廃止に伴い、当該施設は公共施設としての利用ができなくなるため、利用頻度の割合が高い新潟漁業協同組合柏崎支所、番神町内会に対して以前から閉鎖する旨を説明し、了解を得ています。加えて、施設の譲渡についても確認しましたが、施設の改修費も含めた維持費が多額となる等の理由から取得の意思はないとの回答を両者より得ています。